

関連商品

「つよさ」と「しなやかさ」を併せ持ったポリエステル樹脂



審美的義歯用ポリエステル樹脂
エステショット ブライト

- 色調 #0 (クリア) クリアピンク #1R (リアルピンク) [繊維入り] #8 (ライオンピンク) [繊維入り] 各1kg
- 包装 患者カード50枚入
- 標準価格 #0、クリアピンク 各26,000円 #1R、#8 各28,000円
- 販売名: エステショット ブライト
- 一般的名称: 義歯床用熱可塑性レジン
- 分類: 管理医療機器
- 医療機器認証番号: 223AFBZX00104000
- 製造販売元: 株式会社 ニッソン 京都府亀岡市旭町樋ノ口88

簡単操作で精密義歯を製作できる、ワンショット射出成型器



義歯成型器
MIS-II

- 構成 義歯成型器 1台 樹脂溶解炉 1台 付属品 1セット
- 標準価格 1,800,000円

- 販売名: MIS-II (エムアイエスII)
- 一般的名称: 歯科技工用成型器
- 分類: 一般医療機器
- 医療機器認証番号: 28B3X10004000011
- 製造販売元: 有限会社 ディーシーエル タニモト 兵庫県粟粟市山崎町須賀沢 1283

プレミアムグレード 鋳造用コバルトクロム合金



歯科鋳造用コバルト・クロム合金
BEGO ウイロニット LA

- 商品 1箱 1,000g 生体適合証明書
- 標準価格 38,000円

- 販売名: BEGO ウイロニットLA
- 一般的名称: 歯科鋳造用コバルト・クロム合金
- 分類: 管理医療機器
- 認証番号: 221AKBZIO0019000
- 製造販売元: 株式会社 ニッソン 京都府亀岡市旭町樋ノ口88

ハイグレード高周波真空加圧鋳造器



歯科技工用高周波鋳造器
ベゴ ノーチラス T

- 構成 本体 1台 セラミックルツボ 6個 テスト用金属材料等付属品 1セット
- 標準価格 2,700,000円

- 販売名: ベゴ ノーチラスT
- 一般的名称: 歯科技工用高周波鋳造器
- 分類: 一般医療機器
- 医療機器認証番号: 28B1X10008001011
- 製造販売元: 株式会社 ニッソン (選任製造販売業者) 京都府亀岡市旭町樋ノ口88

アイキャストワールド 2013

今、知っておきたい 義歯の臨床



日本はまさに超高齢化社会に突入しており、義歯の需要が高まっているのが現状ではないでしょうか。クラスプを金属ではなく樹脂で作製しているノンクラスプデンチャーは、審美要求を満たせる補綴物として最近注目を浴びている義歯の一つといえます。今回、弊社では、総義歯とノンクラスプデンチャーを含めた部分床義歯について4名の臨床家の先生方をお迎えし「今、知っておきたい義歯の臨床」をテーマにアイキャストワールド2013を開催いたします。講演会だけでなく、同時に歯科技工士の皆様によるポスター発表を併設し、参加頂けます方々と情報を共有できる場をご提供させていただきたいと考えております。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

日時 2013年4月21日(日) 10:30~16:30

対象 歯科医師・歯科技工士

定員 250名

会場 ベルサール神田
(JR 神田駅4番出口より徒歩10分)
下記地図をご参照ください。

参加費 ¥10,500(税込み) ※1 WEB割引 ※2 団体割引 ※3

※1 支払い後のキャンセル、および返金は致しかねます。ご了承ください。 ※2 弊社HPよりお申込みください。 ※3 団体お申込みの場合、10名以上の参加から受付致します。別用紙の記入が必要ですのでお問い合わせください。



歯科技工士の皆様のポスター発表募集中!!

会場内にてポスター発表が出来ます。日ごろの研究発表をさせていただける場を設けました。

- テーマは、① エステショットブライト ② MIS-II
③ BEGO ④ シンピオン

お申込はFAX又はE-Mailにてご連絡下さい。
担当: 増田 t-masuda@i-cast.jp

(フリガナ) お名前			歯科医院名	
			歯科技工所名	
ご住所	<input type="checkbox"/> 勤務先 <input type="checkbox"/> 自宅 どちらかかにチェックをお願いします。 〒 -			
TEL		FAX		
E-Mail (PC用)	※携帯アドレス不可			

FAXでのお申込: 075-257-7271 弊社HPのお申込: www.i-cast.jp

お問合せ

株式会社アイキャスト

〒604-0847 京都市中京区烏丸通り二条下る秋野々町 513 番地 京都第一生命泉屋ビル 8F

TEL: 075-257-7270 www.i-cast.jp

担当: 増田 t-masuda@i-cast.jp



セミナー情報は facebook でも公開中!

全部床義歯についての講演



村岡歯科医院 院長

村岡 秀明 先生

1972年 神奈川歯科大学 卒業
1980年 村岡歯科医院 開業

現在
村岡歯科医院(千葉県)院長
日本顎咬合学会指導医
「総義歯吸着の7つのステップ」など多数執筆

下顎総義歯の辺縁をどのように設定するか ～私のやり方考え方～

義歯の維持安定という点、顎堤と義歯内面の適合を考えがちですが、それだけで足りていないわけではありません。頬筋や舌というような周囲組織が義歯を包み込むことによって、義歯が外れなくなっているのです。そのためには、義歯の床縁形態が周囲組織と調和していることが大切になってきます。義歯の辺縁は、「おり返し地点」に設定し、「やわらかい所」で終わっていて、「まるみを帯びて」いなければなりません。そして、その「おり返し地点」は、ただ粘膜がおり返っているところではなく、粘膜が顎堤に密着しながらおり返っているところまでいかなければなりません。すなわち、顎骨の形を印象面に表現するのです。パーシャルデンチャーの場合は総義歯とは少し違ってきますが、欠損部の印象に対する基本的な考え方は同じです。

今回は、私が何を考え、どのようなやり方で義歯の形態を求めているか、下顎総義歯印象と、クラスプ部分をエステショットにした、いわゆるノンクラスプ金属床を作るための個人トレー印象を例にとり、ムービーで見ていただきたいと思います。

落第点をとらない総義歯治療 ～最低限おさえるべき咬合採得のポイント～

総義歯作製において、人工歯排列された口内義歯や完成義歯の顎位がズレてしまった経験はないでしょうか。人工歯排列における顎位のズレを防ぐためには、テクニカルエラーが少なくなるような咬合採得(垂直的顎間関係・水平的顎間関係の決定)を行うことが必要です。テクニカルエラーの少ない咬合採得を行うためには、総義歯に必要な解剖学的ランドマークを含んだ印象採得を行い、義歯床辺縁に影響を及ぼす口腔粘膜や筋を考慮した咬合床を作製しなくてはならないと考えます。顎堤粘膜の被圧変位量が、部位により2mmと大きい値をもつ無歯顎の場合、不適合な咬合床を用いた咬合採得は、咬合床の動揺をまねくだけでなく、顎位がズレると推測します。今回、私が実践する最低限注意すべき咬合採得のポイントを、人工歯排列を含め解説したいと思います。



ナカ工歯科クリニック 院長

前畑 香 先生

2000年 神奈川歯科大学 歯学部 卒業
2004年 ナカ工歯科クリニック副院長

現在
ナカ工歯科クリニック院長
神奈川歯科大学学生体管理医学講座
理学分野薬理学教室 研究員
神奈川歯科大学同窓会 理事
日本顎咬合学会認定医

部分床義歯についての講演



東京医科歯科大学歯学部臨床教授

千駄木あおば歯科 院長

谷田部 優 先生

1983年 東京医科歯科大学歯学部 卒業
2002年 千駄木あおば歯科 開業

現在
東京医科歯科大学歯学部臨床教授
日本補綴歯科学会専門医・指導医

パーシャルデンチャーの 「設計の考え方と限界」

パーシャルデンチャーはほとんどすべての欠損が適応症例となりますが、残存歯に何らかの負担を強いる修復物であることも確かです。それ故に抜歯鉗子と揶揄されることもしばしばであり、近年の著しいインプラント修復法の確立によって、ますますパーシャルデンチャーの扱いが低くなってきた感があります。

しかし、欠損を診る目を養うためには、まずパーシャルデンチャーを含めて治療計画を立てることが大切です。また、パーシャルデンチャーは初診の患者さんが義歯の不具合で困って来院されても、その日のうちに満足して帰っていただける修復方法でもあり、術者と患者の信頼関係の構築に最も役立つツールになります。最近では、ノンメタルクラスプデンチャーも市民権を得て審美的な面でも患者さんから敬遠される要因は少なくなっています。ただ、安定したパーシャルデンチャーの設計ができないような欠損や残存歯、咬合状態、その他の因子もあり、限界を感じることも少なくありません。我々はどのような修復方法を選択するか、どのような材料を用いるかを患者さんに呈示する前にそれぞれの利点欠点を周知したうえで、将来的なリスクも予測したいものです。今回は、パーシャルデンチャーの設計原則のうち、動きの抑制に焦点をあてて、そこから見えるリスク、あるいは限界について考えてみたいと思っております。



南青山山林歯科クリニック 副院長

林 大悟 先生

2005年 鶴見大学歯学部卒業
2010年 鶴見大学大学院歯学研究科修士・学位
(歯学博士)授与

現在
医療法人社団 昂会 南青山山林歯科クリニック 副院長
鶴見大学歯学部歯科有床義歯補綴学講座 研究員
歯学博士

ノンメタルクラスプデンチャーの 「構造と設計を考える」

ノンメタルクラスプデンチャーは審美性に優れる義歯として、普及が進み、日常の臨床で目にする機会も増えて参りました。しかし一方で、残念なことにノンメタルクラスプデンチャーでは審美面のみが着目される傾向が強く、特性についてきちんと理解が得られていないまま利用された結果、様々なトラブルに直面してしまうケースが少なくないというのが現状です。特に噛めない、痛い、壊れるなど、といったトラブルは材料の剛性が由来する大きな問題点の一つで、この点にしっかりと対応した上で義歯を製作しなければ、結果的に満足度の低い義歯となってしまいます。

そこで今回は、ノンメタルクラスプデンチャーを考えるにあたって、要点となってくる剛性の考え方をベースにお話をさせていただきながら、ノンメタルクラスプデンチャーの剛性を補うメタルフレームワークとのコンビネーションの症例、それに伴う適切な前処置などについて解説させていただきたいと思っております。